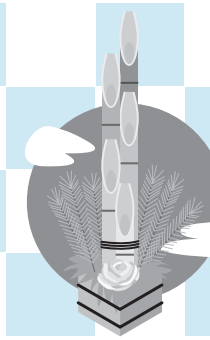


2003

新年のごあいさつ



新年明けまして

おめでと〜ございませす



大崎町長 靖弘 東

皆様方には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお喜びいたしますとともに、新しい年が皆様にとってご健勝でご多幸な一年になりますよう心からお祈りいたします。

昨年を振り返ってみますと、町長就任一年目ということで、全体の奉仕者という考えのもと、職員ともども襟を正して行政運営に努めてまいりました。

おかげさまで、農政関係では、新規就農者支援事業によって三家族が新たに就農されたのをはじめ、畜産関係や林業関係の各種事業、建設関係では、公共下水道の本年度末、供用開始に向けた準備、福祉保健関係では、福祉給食サービス事業の年間完全実施、教育関

係では、完全学校週五日制の実施に伴う総合的な学習の充実、中央公民館の改修、また、総務企画関係では、本町活性化のための四つのプロジェクト、更に、十六年ぶりに開催された夏祭り花火大会に、町内外からたくさんの方が詰めかけ大変喜ばれるなど、順調に成果をあげております。

市町村の合併問題につきましては、二度にわたる座談会を開催するなかで、貴重なご意見やご質問をいただき、アンケート調査にもご協力いただきました。

この結果、十二月定例議会で志布志町・有明町・大崎町合併協議会設置議案が可決され、三町の合併について、法律に基づく協議が始まることになりました。

昨年二月には大崎上町で火災が発生しましたが、消防団や町民の方々の協力で甚大な延焼を防ぐことができました。

また、七月には、台風九号の影響により、菱田川の沖合いで貨物

船コープベンチャー号が座礁し、燃料の重油と積荷のトウモロコシが海岸線に漂着するという事故が発生いたしました。

多数の町民の方々の篤いボランティア等により、三日間で重油が付着したごみを回収することができました。連携と協力し合うことのすばらしさを感じたところでございます。

この取り組みに対して、海上保安庁など、関係機関から高く評価されました。

一方、町内の明るいニュースとして、たしましては、二月に有限会社おおすみテクノ、九月にはタカラバイオ株式会社が進出し、また、十二月には株式会社おおさき町(まち)鰻加工組合が設立され、高齢化が進展する中で、若者が働く場所がより多く確保できるのではないかと期待しております。

環境問題が大きく取り上げられるとき、大崎町では新たに生ごみの回収をはじめました。

家庭から出た生ごみから堆肥を

生産、それを使って菜種を植え付け、その菜種をしぼった油は『ヤツタネ!菜ツタネ!』の銘柄で大崎町の特産菜種油として販売をします。

また、使用後の廃油は、自動車の燃料や石けんの原料として活用するなど、循環型社会への取り組みは町内外から注目を集めています。

大崎町では、『ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち』を基本理念に、本町が持つ特色や魅力を生かした個性あるまちの創造、循環型社会の推進をはじめ、二十一世紀の大きなテーマであります少子高齢化への対応などの課題に適切に対応するため、行財政全般にわたる改革を積極的に進めながら、住民サービスの向上に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

この一年が、皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつとします。